

## 2019 年度町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会 現地確認報告

日程 1　日 時：2019 年 7 月 9 日（火）13：30-16：00

場 所：観光まちづくり課（町田市庁舎）、鶴川中学校

出席者：奥委員（市庁舎のみ）、斎藤委員、斎藤（之）委員、多久島委員、  
知識経営研究所二上さん

## 1 市庁舎執務室のエコオフィス活動状況について（観光まちづくり課）

**奥委員**

## &lt;省エネルギー&gt;

- ・照明については、照明配置図が壁に貼られており、観光まちづくり課をはじめとした各課の区画のスイッチがどれなのかが分かるようにしてあるのは良い。
- ・照明は定時になると一斉消灯となり、必要な場合に各区画のスイッチを入れること。
- ・空調は全庁管理されており、夜間に使用する必要がある場合は申請を要すること。
- ・同一フロアであっても、場所や配置によって温度が異なることから、扇風機などを利用して、空気を攪拌させると良いのではないか。

## &lt;省資源&gt;

- ・裏紙の有効利用については、各自で保管している裏紙を適宜利用していることで、正確な利用状況が把握されているわけではなく、あくまでも感覚的な評価にとどまっている。課もしくはフロアで裏紙をまとめておき、利用できるような方式も考えられるのではないか。
- ・分別・資源化については、各課ごとに把握できるような収集・分別方法にはなっておらず、課単位で取組みを評価することの妥当性に疑問を感じる。
- ・たとえば、空調、給湯の適正使用、分別・資源化といった項目のように、課単位よりも、部もしくはフロア単位での評価が妥当ではないかと思われるものもあり、課単位で一律に評価するというやり方で良いのか改めて検討すべきではないか。

**斎藤委員**

- ・フロアには、古紙のリサイクルボックスが 2 カ所設けられている。一方、裏紙用のボックスはなく、各自で保管しているとのことだった。スペースを設けて共用のボックスをつくった方がよいのではないか。
- ・同じフロアに 8 課あるということで、課をまたいだ取り組みがいろいろとあると良いと感じた。現在は、始業前に電気を付けないなどの協力をしているということである。
- ・観光まちづくり課ということで、オフィス内での紙使用だけでなく、パンフレットなど配布用の紙の消費もあるだろう。外向けの紙の量について気になるところである。どのぐらい印刷しているか、印刷して余ったものがどのぐらいか、紙以外の媒体についてはどうなっているか等。

**斎藤（之）委員**

- ・PC の ID カード挿抜による省電力モード管理や、タイマーによるエアコン運転管理など、省エネルギー化がシステム化されている点は評価できる。
- ・一方で残業時のエアコン使用や、窓側の照明制御などでは局所的制御ができないため、少人数作業や時間外作業が増えると効率の悪い運用になる可能性がある。
- ・裏紙のストックは適正化管理の面から各自保管ではなく、共同利用が望ましい。

**多久島委員**

啓発が行き届き、しっかりと取り組みがなされていた。

**コンサルニ上さん**

エコオフィス活動について、適切に理解し、取り組みが行われていることが伺えました。

**[省エネルギー]**

- ・PC モニターの明るさは個々では特段調整していないとのことでした。システム担当部署で PC 既に調整済みかもしれません、もししていない場合は、全序的に実施すれば更なる省エネとなります。
- ・働き方改革の流れで、全序の定時退序日に加え部としても設定しているとのことでした。残業時間削減は省エネにつながりますので、もし他で目標管理の枠組みがなければ、EMS で目標管理することも考えられます。

**[省資源]**

- ・裏紙利用は、フロアで裏紙 BOX を設置しているわけではなく、個人でためておき、都度複合機で手差し印刷しているとのことでした。集積した方が全体として効率よく活用できると考えられますので、12 日の現地確認の際に他のフロアの状況をご確認いただければと思います。

・

**[その他]**

- ・以下については、手間をかけず全序的に省エネが実行できる仕組みとなっていました。
  - 離席時の PC スリープモード（職員カードを抜くと自動的にスリープモードになる）
  - 空調、照明の一斉 OFF（照明は必要なところのみ各自で再点灯、空調は再度使用したい場合は別途申請が必要）

## 2.鶴川中学校の執務環境や設備点検及びエネルギー使用状況等について

### 斎藤委員

- ・公立の中学校であるが、建物が独特な形状になっており、また温水プールもあるなど、設備面でも他の小中学校と異なるところがあった。特殊な事例であるようにも思える。
- ・エネルギーについては、太陽熱集熱器を設置している。エネルギー利用や、温水プールの温度管理、水循環の濾過など、業者による管理ができている状況であった。
- ・紙使用について、タブレット端末が全生徒数分あるということだった。印刷室が文房具類も含め、きちんと整頓されていた。資源ごみの回収スペースについても、きれいな環境が保たれていた。
- ・生徒たちが各教科の教室に移動して授業を受けるという形のため、自分たちが占有する机がなく、結果的に共同利用の意識が自然と身に付くということであった。環境教育の授業はとくにおこなっていないということだったが、校舎内が清潔な環境に保たれているようだった。

### 斎藤（之）委員

- ・エネルギーの集中管理化と最適化がシステム全体で設計されており、エネルギー・マネジメントは委託業者に集中化している。管理者以外はそれが適正なのかは把握しづらい面があり、定期的な点検調査が必要である。
- ・教室やプール、校庭、各種設備などの整備も行き届いているが、教員の作業環境はやや雑然としている。授業も板書中心であり、ＩＣＴ化による教員事務負担の低減や授業の効率化、紙使用量の削減が望まれる。

### 多久島委員

啓発が行き届き、しっかりと取り組みがなされていた。

### コンサルニ上さん

教科ごとに別々専用教室を設ける教科教室型の運営を行っており、また一般市民も利用できる温水プールもあることから、通常の中学校と比較して特殊な面もありますが、校内は非常にきれいに整備され、管理が行き届いていました。

#### [省エネルギー]

- ・温水プールがありエネルギー使用量は非常に多いと思われますが、大型の太陽熱温水器が設置されるなど省エネを意識した設備構成となっているように見受けられます。また空調用の冷温水発生器も昨年度に更新されたことから、今年度のエネルギー使用量の削減が期待されます。
- ・冷温水発生器やボイラー等の熱源は、使用実態を踏まえて設定値を調整することにより、省エネにつながる可能性があります。また、エネルギー使用量の多い施設では、設備更新時にできる限り省エネ性能の高い機器を導入することにより大幅な省エネが見込めますので、運用改善の指導や省エネ診断を受けることをお勧めします。

#### [省資源]

- ・ごみの分別も徹底され、裏紙利用のためのストックもきれいに整理されて使いやすい状態になっていました。

日程 2　　日 時：2019 年 7 月 12 日（金）13：30-15：45  
場 所：総務課（市庁舎）、南第一小学校  
参加者：松波委員、越智委員、葉澤委員

## 1 市庁舎執務室のエコオフィス活動状況について（総務課）

### 松波委員

総務課は複合機について全庁に関して管理を行っており、紙の削減、文書の電子化を率先して行っている。くるくるコーナーの利用に関しての評価が少々悪いのは、利用頻度の減少が理由であるとのことであり、問題の大きさは小さいと考える。

市庁舎におけるコピーは、ID カードで管理されており、無用なコピーに関して徹底したコントロールがなされている。印刷部局も総務課管理であるが、印刷は部署ごとの色分け申請書を必要とし、紙の使用について市庁舎全体でのコントロールが可能な体制となっている。総じて、本部署に関しては、自己評価の通り、環境保全の努力がかなり進んでいると考えられる。

### 越智委員

紙の使用に関しては印刷の管理部門であり、削減に対して高い意識が見られた。

庁舎内の印刷所にて大量の紙を印刷しており、今後、文書管理システムへの導入に伴い削減へ繋がる事を望みたい。

### 葉澤委員

総務課はすべての部署のコピー機や紙の管理をしているので、コピー機を使うときの ID 管理をしていて使用状況を確認している。

くるくるコーナーは使いたい物があまり出ないので、あれば使っている。

昼休みは外からの来客がないので、すべての電気を消している。

印刷室はシステム化していて無駄が出ないようになっていた。

チェックリストの高評価は間違いありませんでした。

## 2. 南第一小学校の執務環境や設備点検及びエネルギー使用状況等について

### 松波委員

南町田地区の開発事業の中で人口が急増している地区的小学校である。創立 145 周年の伝統校である。そのため、校舎は老朽化しているにもかかわらず、転入児童数が月に最大 10 名を超える場合もあるとのことで、教室の確保に苦しんでいる様子が把握された。

空調設備が効きにくく、雨漏りも課題で、光熱費の増加は避けられない状況にあるとのことであった。こうした状況の中でも、紙の裏紙使用を教職員に徹底している点は大きな評価ができる。とりわけ、環境教育として児童に環境行動に関する壁新聞作成の指導を行い、ほぼ毎年表彰されている点は大きく評価されるべきであろう。

子供祭りの企画においても、ごみの持ち帰りを徹底させているとのことであった。教室確保のために、倉庫として教育していた部屋を教室に変更しようとしているが、倉庫の物品の一次移動のコストが負担のため、教職員が物品移動をせざるを得ないとのことで、伝統校の教育インフラ予算が正当になされていない現状は問題である。都の方針による「ベーシックドリル」の実施により、明らかに紙の使用量は増加しているとのこと、タブレット化も未定であり、紙の使用量の大幅削減は現状では困難であると考える。

### 越智委員

老朽化した建物にて、設備面からのエコは難しく思われる。

学校としては、エコ壁新聞コンクール参加等、生徒のエコへの取り組みが見られた。

職員もゴミの削減等の取り組みの徹底が見られた。

### 藁澤委員

まず開校 145 周年にびっくりしました。

校舎全体が古く蛍光灯の光量が足りなかつたり、窓の周りに隙間があつたり、雨漏りしたりで省エネには難しい。

南町田が学区に入っているので、生徒数が増えているため、紙の使用量が増えている。

学童が校舎内にあるため使用量を見ると多くなってしまう。

ゴミに関しては徹底していて、個人のお弁当のゴミなどは持ち帰りにしているほどです。

学校では生徒が優先なので、エアコンの設定温度を守るのは難しそうです

校舎が古いうえ生徒数が増えるので、大掛かりな工事が必要になるのでは。